allcinema

先生のお気に入り（1958）

TEACHER'S PET

メディア 映画
ジャンル ロマンス　コメディ
製作国　アメリカ
色彩　B&W
時間　120分
初公開日 1958/07/29
公開情報 ＰＡＲ

【解説】

新聞社の叩き上げの社会部長が、大学からジャーナリズム講座の講師依頼を受け、学歴なんぼのものかとにべもなく断るが、上司の圧力で教授に出向くと、何とも魅力的な女の先生で、悪戯心を出した彼は、正体を隠してその講座に潜り込むーー。と書けば、パラマウントらしいスクリューボール・コメディを連想するだろうが、これは監督がＧ・シートンだから、そこまでのテンポはない。で、つまらないかというとその反対で、どっしりと年輪を重ねてきた主演のゲイブルの醸す大人の余裕が、そっくり映画のリズムとなっており、これが堪えられないのである。彼が扮するジム・ギャノンはドリス演じるエリカ・ストーン教授に惹かれるが、そこに彼女が夢中の気鋭の心理学者ヒューゴ・パインが立ちはだかって軽妙な笑いが生まれる。教養では敵う相手ではないと、ジムは彼に野球の記録の話題など振ってみるが、完全無欠のこの好青年には知らないことなどなく、たじたじとするあたり、実におかしい。スマートなＧ・ヤングに最適なパートだ。エリカはジムに騙されたことに激昂するがジム、エリカ双方の恋心を知ったヒューゴがなんとか取りなそうとする。しかし事態は、ジムが彼女の父親で高名な〈ユーレカ・センティネル〉紙の社主兼主筆の理想主義を嘲ったことから、おもわぬ収束を見せる。学識と経験、その二刀流が記者に必須なのと同じように、この凸凹コンビも幸福な二人三脚で歩み出すのだ。もう少しピリリと薬味を効かせて欲しいところもあるが、テーマがテーマなだけに、こうしてのんびり見させてもらうのも、また一考かと思える佳作だ。

【クレジット】

監督	ジョージ・シートン	George Seaton
製作	ウィリアム・パールバーグ	William Perlberg
脚本	フェイ・ケニン	Fay Kanin
	マイケル・ケニン	Michael Kanin
撮影	ハスケル・ボッグス	Haskell Boggs
音楽	ロイ・ウェッブ	Roy Webb
出演	クラーク・ゲイブル	Clark Gable
	ドリス・デイ	Doris Day
	ギグ・ヤング	Gig Young
	マミー・ヴァン・ドーレン	Mamie Van Doren
	ニック・アダムス	Nick Adams
	チャールズ・レイン	Charles Lane
	ジャック・アルバートソン	Jack Albertson
	ヴィヴィアン・ネイザン	Vivian Nathan

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.